

忠下工 第 44 号  
令和02年08月05日

国土交通大臣 殿

忠岡町長

社会資本総合整備計画の変更について

令和02年01月28日 付け 忠下工 第 75 号 で提出した、社会資本総合  
整備計画について、別添のとおり変更するので提出する。

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和02年08月05日

計画の名称	忠岡町公共下水道整備計画（重点計画）（防災・安全）												
計画の期間	平成30年度～令和04年度（5年間）										重点配分対象の該当	○	
交付対象	忠岡町												
計画の目標	浸水対策の促進及び老朽化施設の計画的な長寿命化を推進することで、効率的、経済的に安全・安心な生活の確保を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	589	A	579	B	0	C	10	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	1.69	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30当初	R2末	R4末
1	忠岡雨水ポンプ場における機械・電気設備の改築・更新実施率を24%（H30）から100%（R4）に増加させる。 忠岡雨水ポンプ場設備改築・更新の実施率 忠岡雨水ポンプ場設備改築・更新の実施率 = 改築・更新済みの設備台数（台） / 改築・更新対象の設備台数（台） 46台	24%	57%	100%
2	忠岡雨水ポンプ場における機械・電気設備の改築・更新実施率を24%（H30）から100%（R4）に増加させる。 忠岡雨水ポンプ場設備改築・更新の実施率 忠岡雨水ポンプ場設備改築・更新の実施率 = 改築・更新済みの設備台数（台） / 改築・更新対象の設備台数（台） 46台	24%	57%	100%
3	浸水リスクの高い地区を抽出し、浸水対策実施率を0%（H30）から100%（R4）に増加させる。 浸水対策実施率 浸水対策実施率 = 浸水対策整備済み面積（ha） / 浸水対策整備対象面積（ha） 2.5ha	0%	62%	100%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
下水道長寿命化計画、下水道ストックマネジメント計画												

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H30	H31	R02	R03	R04				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-001	下水道	一般	忠岡町	直接	忠岡町	ポンプ場	改築	長寿命化計画(忠岡雨水ポンプ場)	機械・電気設備の改築・更新	忠岡町						155		策定済	
		下水道長寿命化計画																		
	A07-002	下水道	一般	忠岡町	直接	忠岡町	ポンプ場	改築	ストックマネジメント計画(忠岡雨水ポンプ場)	計画策定、点検・調査、改築・更新	忠岡町						209		策定済	
		下水道ストックマネジメント計画																		
	A07-003	下水道	一般	忠岡町	直接	忠岡町	管渠(雨水)	新設	第2排水区他 雨水浸水対策事業	調査・設計・浸水対策	忠岡町						115		-	
	A07-004	下水道	一般	忠岡町	直接	忠岡町	ポンプ場	改築	耐水化対策事業(忠岡雨水ポンプ場)	調査・診断、設計、耐水化対策	忠岡町						100		-	
												小計						579		
												合計						579		

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	C07-001	下水道	一般	忠岡町	直接	忠岡町	管渠（ 雨水）	新設	浸水想定区域図作成	内水ハザードマップ作成	忠岡町						10		-
基幹事業（A07-003）と一体的に実施することにより、浸水被害の軽減と住民の防災意識の向上を図る。																			
											小計						10		
											合計						10		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H30	H31	R02	R03	R04
配分額 (a)	39	23	57	42	111
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	0	0
交付額 (c=a+b)	39	23	57	42	111
前年度からの繰越額 (d)	0	0	7	0	4
支払済額 (e)	39	16	64	38	88
翌年度繰越額 (f)	0	7	0	4	27
うち未契約繰越額(g)	0	0	0	0	0
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

(参考様式3) 参考図面 (防災・安全交付金)

計画の名称	忠岡町公共下水道整備計画 (重点計画) (防災・安全)		
計画の期間	平成30年度 ~ 令和4年度 (5年間)	交付対象	忠岡町

**防災・安全交付金**  
**27341 忠岡町**

計画期間:平成30年度~令和4年度(5年間)

一般平面図(雨水)

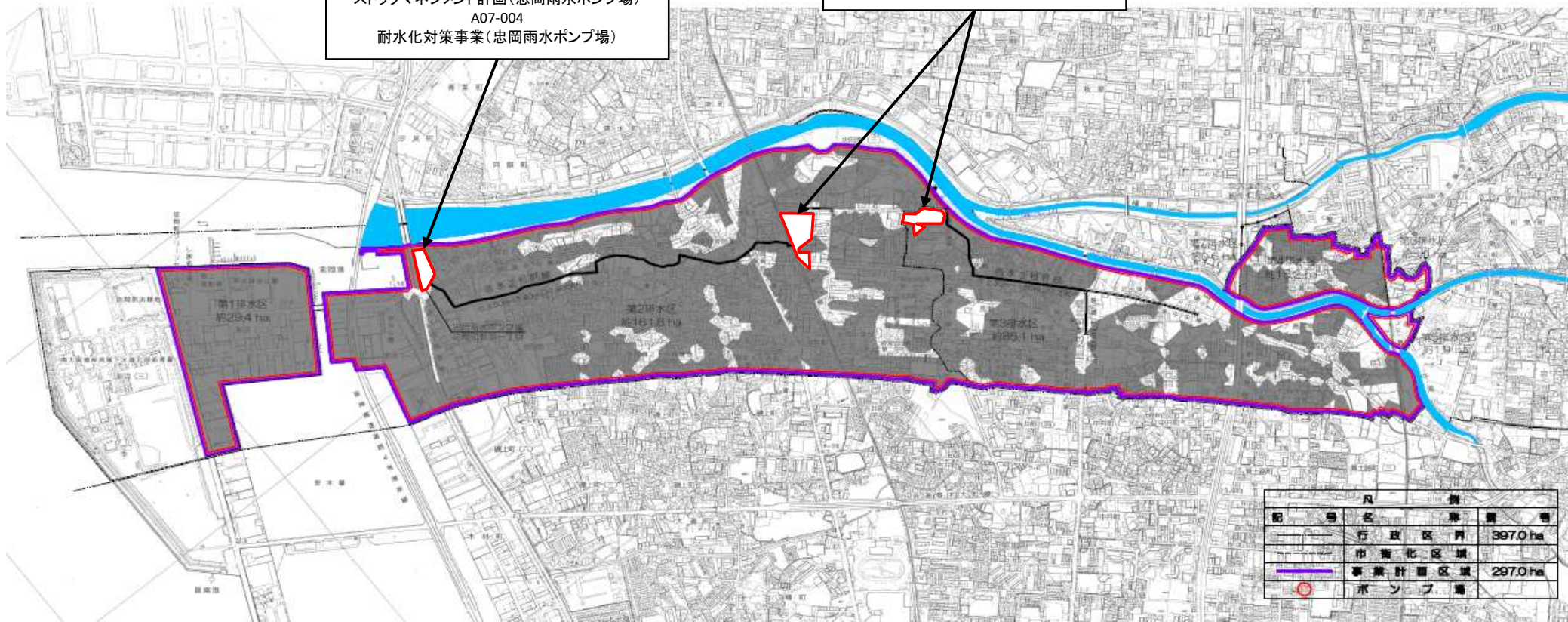
## 忠岡町公共下水道計画図(雨水)

基幹事業



A07-001  
長寿命化計画(忠岡雨水ポンプ場)  
A07-002  
ストックマネジメント計画(忠岡雨水ポンプ場)  
A07-004  
耐水化対策事業(忠岡雨水ポンプ場)

A07-003  
第2排水区他 雨水浸水対策事業



## 事前評価チェックシート

計画の名称： 忠岡町公共下水道整備計画（重点計画）（防災・安全）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 都市再生基本方針との適合等 1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 都市再生基本方針との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題をふまえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○

事前評価

チェック欄

III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境	2) 交付期間中の計画管理(モニタリング)を実施する予定である。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境	3) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○